

履修コード/科目名称	437801 / ダイレクトマーケティング		
開講年度・期	2026年 後期	開講曜日・時限	木曜日 1時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	太田 和正 (オオタ カズマサ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	人口構造の変化、消費者の価値観および購買行動の変化などを背景として、無店舗型の販売が急激な成長を遂げている。 今や生活に欠かせない通信販売やインターネット販売などの無店舗販売は、どのような背景で生まれ、どのような発展を遂げてきたのか、そして、今日的な課題は何かを理解することが本講義の目的である。		
到達目標(ねらい)	(1) マス・マーケティングとダイレクト・マーケティングの違いを理解する。 (2) ダイレクト・マーケティング誕生の背景を理解する。 (3) ダイレクト・マーケティングにかかわる主要な概念について理解する。 (4) ダイレクト・マーケティング実際のビジネス展開が過去から現在に至ってどのような変遷を辿り、どのような課題を抱えているかを理解する。 (5) 具体的な事例を交えて理論を理解することにより、ダイレクト・マーケティングについて多面的な理解をする		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス
		準備学習 (予習・復習等)	関連資料等一般情報の収集 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	マーケティングの基本的枠組みの理解
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	マーケティング・パラダイムの転換とダイレクト・マーケティングの枠組み
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	流通の歴史、消費者社会の変化と通信販売
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	ダイレクト・マーケティング発達の背景とダイレクト・マーケティング市場の現状と課題
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	顧客関係性の本質と顧客価値の評価基準
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	マーケティング・コミュニケーションとダイレクトマーケティングの関係性
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	メディアの変化とダイレクト・マーケティング・コミュニケーション
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	顧客接点とヒューマンコミュニケーション
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	近年の通販の動向とコミュニケーション戦略

		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習	60分
	第 11 回	授業の計画・内容	通信販売と顧客の保護、法的規制	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習	60分
	第 12 回	授業の計画・内容	事例研究①（メーカー、小売業の事例）※事例内容は変更する場合有	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習	60分
	第 13 回	授業の計画・内容	事例研究②（ECサイト、カタログ通販の事例）※事例内容は変更する場合有	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習	60分
	第 14 回	授業の計画・内容	事例研究③（TVショッピング、中小企業の事例）※事例内容は変更する場合有	
		準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習	60分
第 15 回	授業の計画・内容	本講義のまとめ		
	準備学習 (予習・復習等)	教科書および配布資料の復習と予習	60分	
履修上の留意点等				
遠隔授業（オンライン授業）の実施回数	・授業の後半において約7回程度、オンデマンド形式によるオンライン授業を実施します。オンライン授業の実施方法および詳細については、授業内で適宜周知します。			
成績評価の方法	50 %	試験		
		レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト	・朴正洙編（2019）『実践ダイレクト・マーケティング講義』千倉書房			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	・授業の途中でアンケートを実施して、受講生の理解度を確認しながら授業を進める方針である。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目	当科目は経営コンサルタントの実務経験を有する教員による科目です。現場での経験を活かし、具体例などを交え履修者がわかりやすい授業を意識します。			
アクティブラーニング型の授業科目				
オープンな教育リソースの活用				